

授業科目名	国語Ⅱ	教員名	有嶋 誠 (実務経験のある教員)	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	
科目番号	KY0108	配当年次	2年次後期	卒業要件	こども音楽療育士	
単位数	2単位				小幼コース	必修
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（幼稚園及び小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校）・国語					
一般目標	「国語Ⅰ」を踏まえ、日本語の持つ多様性が豊かな言語文化を産んだことをより深く理解する。また国語教科書教材としても採られていることわざ・四字熟語（漢文）・古文・和歌・俳句など伝統的な言語文化に触れ、その豊かさを実感する。					
到達目標	「我が国の言語文化」の豊かさに触れ、その精神を理解することが出来る。また、古文・漢文の読解力を培う。同時に、小学校国語教材分析能力を培う。 (1)国語科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 (2)学習指導要領における国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。					
授業の概要	豊かな文字言語を有する日本語は、結果として多様な言語文化をもたらした。その「伝統的な言語文化」である四字熟語（漢文）・古文・和歌・俳句等を学ぶことによって日本文化の多様性を実感し、国語への理解と愛着を深める。アクティブラーニングとして、「振り返り、個別の質疑応答、対話型講義、小テスト」などを取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	<p>第1回：「我が国の言語文化」を学ぶ 「我が国の言語文化」（学習指導要領国語）とは何か、主として義務教育段階（小学校・中学校教科書）での伝統的言語文化を例に、学ぶ。（目標(2)）</p> <p>第2回：ことわざを学ぶ 伝統的言語文化としてのことわざの意義について学ぶ。各ことわざの意味と用法、特に間違いやすいことわざについて学習する。（目標(1)）</p> <p>第3回：義務教育段階での「ことわざ・慣用句」 義務教育段階での国語教材ではどのような「ことわざ・慣用句」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第4回：四字熟語（漢文）を学ぶ 伝統的言語文化としての四字熟語（漢文）の意味と用法を学ぶ。（目標(1)）</p> <p>第5回：義務教育段階での「四字熟語」 義務教育段階での国語教材ではどのような「四字熟語」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第6回：古文（随筆）を学ぶ 伝統的言語文化としての古文について学ぶ。随筆を対象とし、読解力を培う。また独特のリズムを味わい、先人の精神にふれ、古文に親しめるようにする。（目標(1)）</p> <p>第7回：義務教育段階での「古文（随筆）」 義務教育段階での国語教材ではどのような古文（随筆）が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第8回：古文（物語）を学ぶ 伝統的言語文化の中の古文について学ぶ。物語を対象とし、読解力を培う。また独特のリズムを味わい、先人の精神にふれ、古文に親しめるようにする。（目標(1)）</p> <p>第9回：義務教育段階での「古文（物語）」</p>					

	<p>義務教育段階での国語教材ではどのような「古文（物語）」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第10回：和歌・短歌を学ぶ</p> <p>伝統的言語文化としての和歌・短歌について学ぶ。和歌・短歌を音読し、独特のリズムを味わう。先人の心にふれ、読解力を培い、和歌に親しめるようにする。（目標(1)）</p> <p>第11回：義務教育段階での「和歌・短歌」</p> <p>義務教育段階での国語教材ではどのような「和歌・短歌」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第12回：俳句を学ぶ</p> <p>伝統的言語文化としての俳句について学ぶ。俳句を音読し、独特のリズムを味わう。先人の心にふれ、読解力を培い、俳句に親しめるようにする。（目標(1)）</p> <p>第13回：義務教育段階での「俳句」</p> <p>義務教育段階での国語教材ではどのような「俳句」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する。（目標(1)）</p> <p>第14回：漢詩を学ぶ</p> <p>日本でも長期に亘って親しまれてきた代表的な漢詩を音読し、独特のリズムを味わう。また、読解力を培い、漢詩に親しめるようにする。（目標(1)）</p> <p>第15回：義務教育段階での「漢詩」</p> <p>義務教育段階での国語教材ではどのような「漢詩」が採り上げられ指導されているかを知り、その内容を学習する（目標(1)）</p> <p>定期試験</p>
学生に対する評価	<p>発表・課題提出50%、定期試験50%で評価を行う。なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>講義内容について自分なりに整理し直し、次回授業までに完全に理解しておくこと。</p>
テキスト	プリントを配布する。
参考書・参考資料等	未定
担当者からのメッセージ	特になし
オフィスアワー	<p>毎週金曜日 15:00～17:15</p> <p>その他の日時は、メール等でアポイントを取って来室すること。</p>
備考	担当教員は、小学校・中学校における教員（国語）・校長としての経験を活かし講義を行う。